

令和7年度

文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

ひまわり学級

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語・算数	<ul style="list-style-type: none"> ○一斉での説明では理解が追いつかない児童がいる。 ○文章題や抽象表現でつまづきやすい。 ○音や他の活動が気になり学習が中断しがちである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に応じて、小グループや個別での学習を行ったり、支援員による学習の補助を行ったりする。 ○具体物・図・数直線などで可視化して理解しやすくする。 ○学習ブースやイヤーマフを用意したり、課題を小分けにしたりタイマーを用いて活動時間を短く区切ることで、集中して取り組みやすい環境にする。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○体力差・得意不得意で達成感に差が出る。 ○勝敗や待ち時間で感情が高ぶりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動内容をレベル別のグループに分け、自分に合ったレベルをその都度選んで活動に取り組めるようにする。 ○クールダウンスポットを整えたり、待機の時間を短くしたりする。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○音程が安定しない。 ○人前の発表が不安で声量が小さくなる。 ○歌・器楽・鑑賞等活動の切り替えが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ○伴奏に合わせて少しずつ、ゆっくりと歌うようにする。 ○ペア→小グループ→全体の順に発表規模を段階化し、曲は本人が選べるようにする。 ○授業の初めに1時間の流れを伝え、見通しをもたせる。 	
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○技能の差により進度に差が出てしまい、達成感を得られずに1時間を終える児童がいる。 ○交流および共同学習への参加などの影響で、作品作りに時間を取れない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各時間ごとに個別のゴールを設定し、児童それぞれに達成感をもてるようにする。 ○作品づくりを月1回の図工だけでなく、週の中に作品作りをする時間を小分けにして確保しておき、交流の有無に関係なく安心して取り組める環境を整える。 	

生活 単 元	<p>○手指活動では、細かな作業で集中が切れやすい。</p> <p>○口頭指示を一度で把握できない児童がいる。</p> <p>○「ルールを守ってあそぼう」では、ルールの共通理解が図れないまま活動が始まり、めあてを意識して活動することができていないことがある。</p>	<p>○1回の活動を10～15分で区切って、集中の維持を図るとともに自分のペースを把握できるようにする。</p> <p>○口頭→絵→実演の順で提示し、要点は3つまでに絞る。</p> <p>○活動に入る前に、「やっていいこと／いけないこと」をイラストや写真付きで掲示し、一つ一つ口頭と視覚で確認する。全員が指さし確認するなど、参加型のルール確認にする。</p>	
生活 ・ 総 合	<p>○外国語活動では、自分からコミュニケーションを取ろうとする児童とそうでない児童の実態差が大きい。</p> <p>○話し合いで意見の比較・選択が難しく合意形成に時間がかかる。</p>	<p>○カードや絵を使った「指さし」「うなずき」など非言語表現での参加からスタートし、次にペア活動→小グループ→全体活動と、段階的にコミュニケーションの場面を広げることで、無理なく発話へのハードルを下げしていく。</p> <p>○板書やスクリーンへの投影などを通して視覚化し、思考を整理しやすくする。</p>	